

【教育目標】 総合目標 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



チャレンジ☆アイ

- ◎自主性、創造性のある生徒(知育)
- ◎情操豊かな生徒(徳育)
- ◎健康でたくましい生徒(体育)

【2学年総合×SDGs】～「スマホから考える世界とわたし」について学ぶ！～

9月6日(火)の5・6校時に2学年の総合学習で「スマホから考える世界とわたしたち」の授業がありました。2学年の総合学習では、6月までは平和学習に取り組み、7月からはSDGsに関連した学習を行っています。

ちなみに、SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称で「持続可能な開発目標」を意味します。現在、世界には地球温暖化や生物多様性の喪失、資源問題や貧困の拡大など、人類の経済・開発活動に起因する多くの問題があります。SDGsは2015年の国連サミットで採択された「17の目標・169のターゲット・232の指標」で、国連加盟国が2030年までに達成を目指す目標です。

当日は、青年海外協力協会(JOCA)沖縄事務所の金城さつきさんを講師にお招きし、2学年9クラスをオンラインでつないぐリモート形式の授業が行われました。授業では、①スマホが手に届くまで、②スマホの原料・部品、③写真を見てスマホとの関係を考える(紛争鉱物)、④ムクウェゲ医師(2018年ノーベル平和賞受賞)の映像を見て、⑤私たちにできること・大切だと思うこと、などについて考えました。



【ムクウェゲ医師の映像を見て】

◎ 私たちの身近にあるスマホをつくるために、原料をめぐる紛争が起きていることで、性暴力などの被害が40万人以上もあることを知って、とても悲しい気持ちになりました。ムクウェゲさんは、その被害にあった人たちを無料で治療するだけでなく、この状況をどうにかしようとしている姿を見てすごいなあと思いました。今までスマホのことを深く考えていなかったけど、これからはもっと自分たちが使っているものの裏側には想像できないようなことが起きていることを忘れないようにしようと思いました。(3組 東江晴花)

【スマホをめぐる問題を改善するために大切だと思うこと】

◎ 使わなくなったスマホが家に2、3台あります。映像を見たり話しを聞いて、回収場所に持参し、少しでも原料を生産する国の負担を減らしたいです。また、原料加工や製造に関わる人々に感謝の気持ちをもって使うことで、しっかり考えることができ長く使えるのかなと思いました。今使っているスマホは使い続けることで一人でも多くの人に幸せが訪れてほしいし、自分のためにもなると思いました。部品をリサイクルすること、スマホを長く使い続けることで女性たちの負担が減り、子ども達も楽に生活できると思うし、逆にいっぱい買い換えたりすることで地球温暖化にもつながり、どんどんひどくなると思う。一人一人の思いが一人の子ども、世界の子どもに大きな影響を与えると知ってほしいし、広めていきたいです。これからは今日学習したことを心にとめて生活していきたいです。(4組 迎結桜)

◎ 私は、スマホをめぐる問題が世の中に色々な影響を及ぼしていることを知りませんでした。先進国の人々は、スマホが当たり前になってスマホに関する問題を考えたことはないと思ったので、家族や友人にスマホの原料調達などで生活が苦しい人たちがいることを伝えることが大事だと思った。資源が取れることで紛争が起こると分かったので、使わなくなったスマホをリサイクルすることは自分にもできると思いました。実際に現地に行って様子を見ることは難しいので、紛争や人権問題に関わっている団体などに少しでも募金をしたり、自分にできることをしっかりやることが大切だと思いました。(1組 永野希歩)

【教育実習スタート】～3名の実習生が9/27まで学校現場で学ぶ！～

9月5日(月)～27日(火)までの約3週間(実質15日間)、3名の大学生が本校で教育実習を行います。3名とも本校の卒業生です。各学年に1名ずつの配置で、生徒の皆さんと授業・学級活動・部活動などを共にします。3名とも学校での実習は初めてということなので、緊張していると思います。生徒の皆さんの優しい声かけや協力をよろしくお願いします。

氏名	教科	配置学級
當山竜生	社会	1年4組
上原悠代	体育	2年1組
知花 龍	美術	3年8組

【自己アピール】⇒生徒玄関の掲示板も見てね!!

【當山竜生先生】 2016年に伊良波中学校を卒業しました。大正大学教育人間学科教職コースに在学中です。この1週間、生徒の皆さんの真剣に取り組む姿や明るい笑顔が嬉しく私の原動力となっています。また、教師の第一歩である教育実習を母校で経験することが何よりも嬉しく、生徒・先生方から多くのことを学んでいます。残り2週間、一生懸命に頑張りますのでよろしくお願いします。



【上原悠代先生】 伊良波中を7年前に卒業しました。茨城県の流通経済大学からきました。実習教科は保健体育ですが、好きな教科は英語、苦手な教科も英語です。生徒の皆さんには、好きなことに挑戦してほしいと思います。それが苦手なことや自信が持てないことであっても突き進んでほしいです。英語が好きだけど苦手な体育の実習生とおぼえてください。

【知花龍先生】 皆さん、はじめまして！ 沖縄県立芸術大学4年の知花龍です。9月27日までの15日間お世話になります。担当教科は美術です。大学ではデザインを専門に学んできました。現在は、ビジュアルデザインやWEB・メディアデザインに興味を持っています。生徒の皆さんの個性豊かな様子にとっても刺激をもらい、伊良波中の良さや好きなどころを思い出しています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。

【一人一研究授業②】～ICT機器を活用し主体的に学び合う生徒の育成～

本校では、校内研究の一環として全ての教師が年間1回以上の公開授業を行う「一人一研究授業」を実施しています。紙幅の都合上「学校だより」で紹介する機会がなかなかありませんが、できるだけ紹介していきたいと思えます。

◎溝邊 雅大 教諭 (特別支援学級〈言語〉 自立活動)

9月6日(火)の3校時に、特別支援学級〈言語〉において溝邊雅大先生の自立活動の「一人一研究授業」がありました。自立活動とは、特別支援教育において個々の生徒の学習や生活上の困難を改善・克服するために行う活動です。今回は、「カ行音」の言葉を上手く話せるように、呼吸法や口形練習、早口言葉、クイズなどの活動を行いました。たくさんの先生方が参観する中、2名の生徒は失敗を恐れず活動にチャレンジしていました。



◎高安 真理 教諭 (1年9組 家庭科)

9月9日(金)の3校時に高安真理先生の家庭科の「一人一研究授業」がありました。今回は、夏休みの宿題で考えた「太郎君の食事にプラスワンメニュー」を各班で発表し合い、自分の食生活の課題と改善策を考える内容でした。1年9組の皆さんは、友達の発表や先生の説明を聞き、成長期である中学生の食事の大切さや、プラスワンによる自分の食生活の改善について考え、表現していました。

